



会社案内

2022.10

地域と共に、暮らしと共に…

ND 南海日日新聞社



伝統文化と自然の宝庫… 奄美



フナギョの滝（住用町）



国指定重要無形民俗文化財のヒラセマンカイ（南郷町）



特別天然記念物のアマミノクロウサギ



金作原のヒカゲヘゴ（奄美市名瀬）



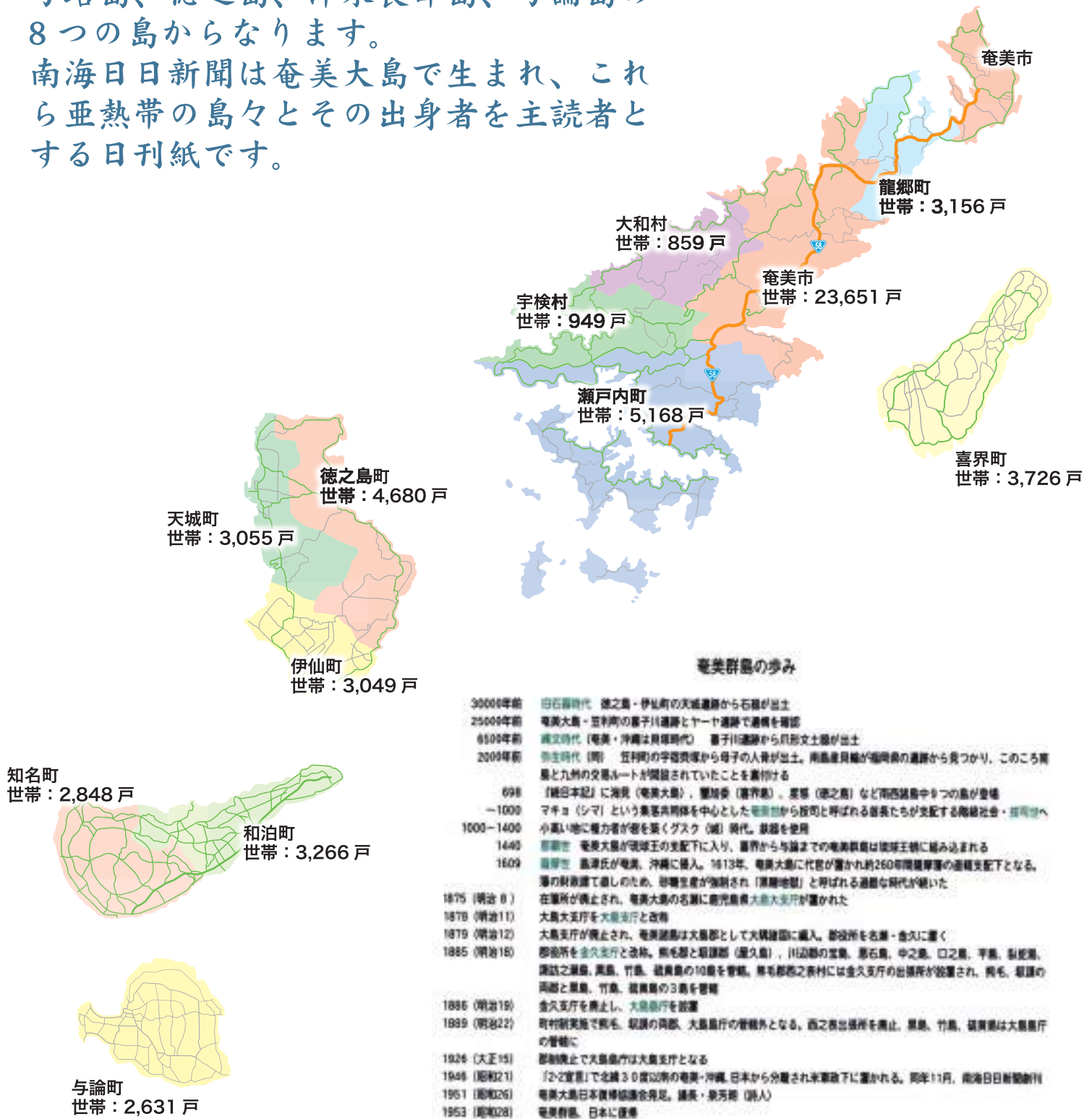
穀物などの貯蔵用倉庫として使われた高倉（奄美市名瀬）



21 世紀の 奄美の島々を結ぶ 郷土紙

南海日日新聞社

鹿児島と沖縄の間に浮かぶ奄美諸島。
喜界島、奄美大島、加計呂麻島、請島、
与路島、徳之島、沖永良部島、与論島の
8つの島からなります。
南海日日新聞は奄美大島で生まれ、これ
ら亜熱帯の島々とその出身者を主読者と
する日刊紙です。



南海日日新聞の歩み



1946（昭和21）11月1日
「南日本新聞大島版」を
「南海日日新聞」に改題。編集印刷発行人・村山家國
主催行事第1回音楽コンクール
本社主催オール大島音楽コンクール開幕
名瀬市中央区山下町に社屋移転
コラム「南海天地」始まる
日刊復活、月曜休刊に。購読料は月30円
社説「帰属問題について」。「アメリカに気兼ねすることなく
日本復帰の意思の表明を」
「あゝわれらは還った 日本にかえった」の見出し、泉芳朗の詩
「今ぞ祖国へ」掲載
社告「徳之島支局を総局に」
社告・本社創立10周年記念事業で「奄美人名簿録」「奄美群島大観」
の発行、時局講演会と写真展、映画会を予告
号外名瀬大火、6歳児1人死亡、リ災84戸
本社創立10周年記念映画大会。三つの映画館を開放
社告・鉄筋2階建て社屋完成し、16日から新社屋に移転
号外・古仁屋大火
社告・70年ぶり大干ばつの与論、沖永良部の救援に
「一にぎり救米運動」を提唱
時事通信社とマスメディアサービス契約
随時4ページ発行へ移行
村山家國の「奄美復帰史」刊行
株式会社南海日日新聞社に社名変更
活字から写植方式に切り替え
第1回南海文化賞授賞式
徳之島総局を開設
鹿児島総局を開設
高速オフセット「エミネント32」で印刷開始
第1回奄美新人民謡大会主催
初代社長・村山家國死去
名瀬市長浜町に鉄筋5階建て新社屋完成、落成記念事業
「南海ジュニア」発刊
常時6ページ発行に
創刊30周年で写真集「天皇」発売
東京支社開設、鹿児島総局の報道部強化、奄美大島南部も強化
紙齢1万号記念特集号発行
第1回島口発表大会主催
代表取締役社長に新納重博就任
創刊35周年記念特集号発行
新聞休刊日以外の通常発行開始
村山邦家が社長、金井直昭が相談役に就任
文字を拡大1行14字から13字に
第1回「南海青空バザール」開催
復帰30周年記念特集号発行
常時8ページ発行
オフセット輪転機「エミネント35型機」を導入
聖教新聞の受託印刷開始
沖永良部総局を開設
文字を拡大し、1行13字から12字に
代表取締役社長に村山三千夫、会長に村山邦家が就任 10月15日、
カラー印刷開始
姉妹紙「月刊奄美」発行開始
村山邦家会長が死去
日刊編集センターと契約してラジオ・テレビ番組配信システムを導入
実島隆三著「あの日の時」を出版
編集オンラインシステム、デジタル写真送受信装置導入
ゴス・グラフィックス・システムズ社製カラーオフセット輪転機と大
日本スクリーン社製イメージセッターを導入、本格カラー印刷を開始
「有村治幸の世界」出版
文字を拡大、1行12字から11字に。社屋改装
HPを独自にリニューアルスタート
コンピュータによる新編集システムを導入、カラー印刷設備（サ
テライト）を増設し8×16インチで4面のカラー印刷が可能に
掲載写真の有料サービスを開始
月曜日付スポーツ面を2ページにワイド化
金、土、日曜、日付の10ページ建てがスタート
携帯で選挙開票速報サービスを開始
天気図のスタイルを変更
見出しのカット類を全面改訂
完全10ページ化スタート
共同通信社と配信契約締結、共同ニュースを掲載開始。時事通信社
とも継続
第3社会面、「なんかいネット」、「女性面」を創設、洋数数字化を実施
東京支社、時事通信ビルに移転
米軍普天間飛行場移設「徳之島の闘い」を出版
CTP（コンピュータ・トゥ・プレート）を導入し、環境にやさ
しい新聞づくり
奄美豪雨災害の義援金を募集
東日本大震災の救援募金開始
「障がい者（児）」等へ表記を改訂
スポーツ面等一部を除いて文字拡大、1行11文字から10文字へ
本社前に設置した電光メッセージボード搭載の自動販売機でニュー
スや災害情報発信、奄美初
1面を刷新、題字を拡大し天気予報を題字下に、「南海天地」を
2段組に
闘牛文化の発展を祈り闘牛大会の勝利牛にガウン贈呈
購読料改定の社告。4月1日から消費税が5%から8%に引き上
げられるのに伴い、現行1835円にアップ分の53円を加え
1888円に。本体価格1748円は据え置く。1部売りは65円
から70円に

2022（令和4）3月3日

2021（令和3）3月10日

2020（令和2）2月6日

2018（令和）3月4日

2017（令和）3月5日

2014（令和）3月26日

2013（令和）4月1日

2012（令和）7月7日

2011（令和）3月15日

2010（平成22）2月22日

2009（平成21）6月1日

2008（平成20）9月21日

1955（昭和30）2月18日

1954（昭和29）10月9日

1953（昭和28）10月14日

1952（昭和27）11月13日

1951（昭和26）12月18日

1950（昭和25）12月25日

1949（昭和24）12月25日

1948（昭和23）12月25日

1947（昭和22）12月25日

1946（昭和21）12月25日

1945（昭和20）12月25日

1944（昭和19）12月25日

1943（昭和18）12月25日

1942（昭和17）12月25日

1941（昭和16）12月25日

1940（昭和15）12月25日

1939（昭和14）12月25日

1938（昭和13）12月25日

1937（昭和12）12月25日

1936（昭和11）12月25日

1935（昭和10）12月25日

1934（昭和9）12月25日

1933（昭和8）12月25日

1932（昭和7）12月25日

1931（昭和6）12月25日

1930（昭和5）12月25日

1929（昭和4）12月25日

1928（昭和3）12月25日

1927（昭和2）12月25日

1926（昭和1）12月25日

1925（大正14）12月25日

1924（大正13）12月25日

1923（大正12）12月25日

1922（大正11）12月25日

1921（大正10）12月25日

1920（大正9）12月25日

占有率 78% 奄美群島最大の発行部数

22,600 部
(2022.7月1日)



販売店名	販売店主	電話番号	住 所
第 1 販売所【港・小浜・佐大熊】	ミライズプランニング(株)	0997-69-3056	奄美市名瀬小浜町 19-3
第 2 販売所【春日・真名津・平田】	直 轄	0997-53-2125	奄美市名瀬長浜町 10-3
第 3 販売所【井根・幸・永田・末広・久里】	ミライズプランニング(株)	0997-69-3056	奄美市名瀬久里町 2-19 竹山ビル 1F
第 6 販売所【矢之脇・塩浜・長浜・入舟・柳・金久】	直 轄	0997-53-2125	奄美市名瀬長浜町 10-3
第 7 販売所【伊津部・石橋・安勝・古田・小俣】	平 大樹	0997-54-2541	奄美市名瀬古田町 6-1
輪内販売所【鳩浜・大熊・有屋・仲勝・朝日・浦上・和光】	(株)リプライズ	0997-53-7838	奄美市名瀬大熊 1288-4
朝仁販売所【朝仁全域】	松山 小百合	0997-53-9088	奄美市名瀬朝仁新町 12-25
小宿販売所【小宿・浜里・平松・里・福里】	宝納 純子	0997-54-8401	奄美市名瀬大字小宿 49
笠利販売所【笠利地区全域】	田島 道代	090-2589-8365	奄美市名瀬長浜町 10-3
龍郷第 1 販売所【龍郷町荒波地区（有良・芦花部を含む）】	直 轄	0997-53-2125	奄美市名瀬長浜町 10-3
龍郷第 2 販売所【龍郷町内場地区】	中田 さつき	090-5937-8860	龍郷町戸口 1474
大和販売所【大和村全域】	富田 尚守	090-9075-1007	大和村思勝 400-9
宇検販売所【宇検村全域】	柳 敏樹	0997-67-2100	宇検村湯湾 672
瀬戸内第 1 販売所【瀬戸内町（高丘・春日・大湊・松江・他）】	林 範孝	0997-72-2510	瀬戸内町古仁屋春日 3-1
瀬戸内第 2 販売所【瀬戸内町（宮前・船津・瀬久井・他）】	祝 秀則	090-1925-0313	瀬戸内町古仁屋宮前 14-5
加計呂麻販売所【加計呂麻島全域】	林 秀子	0997-75-0506	瀬戸内町瀬相 743
喜界販売所【喜界町全域】	盛崎 渉	0997-65-0105	喜界町湾 60
徳之島販売所【徳之島全域】	松下 均	0997-83-3641	徳之島町亀津北区 7654-1
天城販売所【天城町全域】	宮田 信子	090-2391-8731	天城町平土野 44-2
伊仙販売所【伊仙町全域】	永治 秀教	0997-86-3607	伊仙町伊仙 3488-9
和泊販売所【和泊町全域】	ミライズプランニング(株)	0997-85-1122	和泊町手々知名 739-1
知名販売所【知名町全域】	原田 めぐみ	0997-93-2224	知名町知名 8-3
与論販売所【与論町全域】	ミライズプランニング(株)	0997-85-1122	与論町麦屋 1660

各種出版物と「月刊奄美」



■各種記念冊子

8年ぶりとなった甲子園。
球児たちのあの感動をふたたび！

—— 島から甲子園 —— 『大島再び夢舞台へ』 記念誌 第2弾！

■各種出版



■南海日日新聞姉妹紙の「月刊奄美」。郷土と
出身者の架け橋として、本土の購読者が多い。
タブロイド判24ページ建で毎月1日発行。
購読料は年間4,000円(税込)

島の文化・スポーツを育む多彩な 主催行事

- ★1月 南海日日旗争奪少年サッカー大会
- ★1月 南海日日旗争奪6人制男女バレー選手権大会
- ★2月 新1年生と保護者の集い
- ★5月 南海日日旗争奪中学サッカー大会
- ★5月 奄美民謡大賞
- ★7月 奄美祭り協賛島唄大会
- ★8月 南海日日旗争奪小学生バレーボール大会
- ★11月 南海日日旗争奪奄美市地区対抗野球大会
- ★11月 南海文化賞贈呈式
- ★12月 南海さわやかジョギング大会
- ★12月 南海日日旗争奪社会人サッカー



★奄美民謡大賞

★奄美市地区
対抗野球大会



★南海さわやか
ジョギング大会



南海日日新聞社

■本社

〒894-8601 鹿児島県奄美市名瀬長浜町 10 番 3 号

☎0997-53-2121 (代表・総務)

HP : <https://nankainn.com>

(編集局) ☎0997-53-2127

(営業局広告・月刊紙) ☎0997-53-2126

(営業局販売部) ☎0997-53-2125

■東京支社

〒104-0061 東京都中央区銀座 5 丁目 15-8 時事通信ビル 1305

☎03-5565-3631

■鹿児島総局

〒890-0056 鹿児島市下荒田 4 丁目 46-23

(報道) ☎099-285-1257 (営業) ☎099-285-1734

■徳之島総局

〒891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津栄新町 7269 番

☎0997-82-1256

■沖永良部総局

〒891-9112 鹿児島県大島郡和泊町和泊 544-4 ☎0997-92-3645

